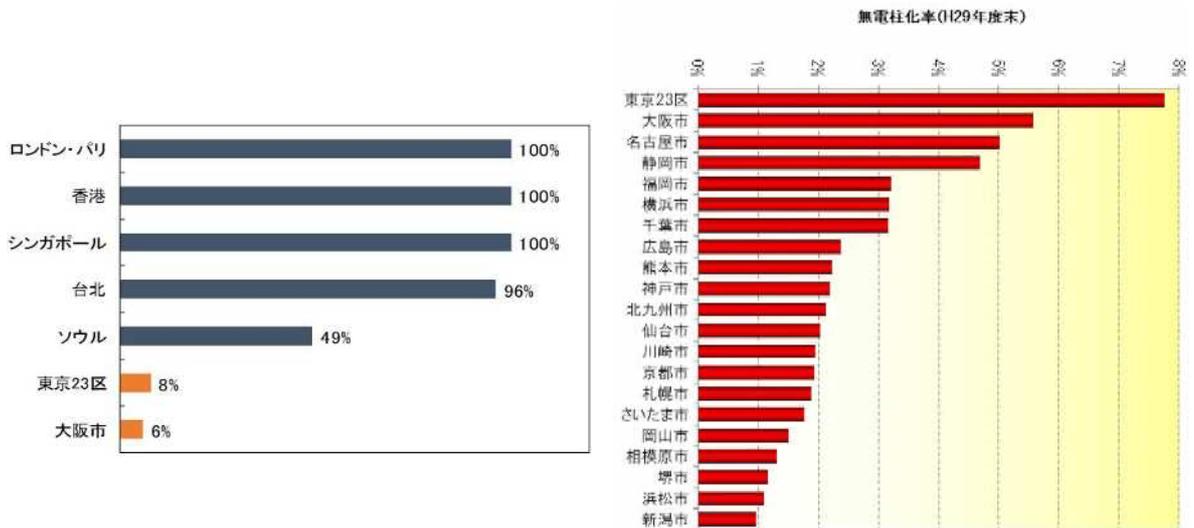


第2章 これまでの取組と現状

2.1 国の無電柱化の整備状況

海外における無電柱化の整備状況は、ロンドン・パリなどのヨーロッパの主要都市や香港・シンガポールなどのアジアの主要都市では無電柱化が概ね完成しています。

我が国においては、無電柱化率は東京23区で8%、大阪市で6%と立ち遅れている状況となっています。また、政令指定都市等においても無電柱化は進んでおらず、無電柱化率が5%を超えているのは、東京23区、大阪市及び名古屋市のみとなっています。



- 1 ロンドン、パリは海外電力調査会調べによる2004年の状況（ケーブル延長ベース）
- 2 香港は国際建設技術協会調べによる2004年の状況（ケーブル延長ベース）
- 3 シンガポールは『POWER QUALITY INITIATIVES IN SINGAPORE, CIRED2001, Singapore, 2001』による2001年の状況（ケーブル延長ベース）
- 4 台北は台北市道路管線情報センター資料による台北市区の2015年の状況（ケーブル延長ベース）
- 5 ソウルは韓国電力統計2017による2017年の状況（ケーブル延長ベース）
- 6 日本は国土交通省調べによる2017年度末の状況（道路延長ベース）

図2-1 欧米やアジアの主要都市と日本の無電柱化の現状

一方、電柱本数は、約3,578万本（平成28年時点）となっており、平成20年から8年間で53万本（年間約7万本）が新設されています。

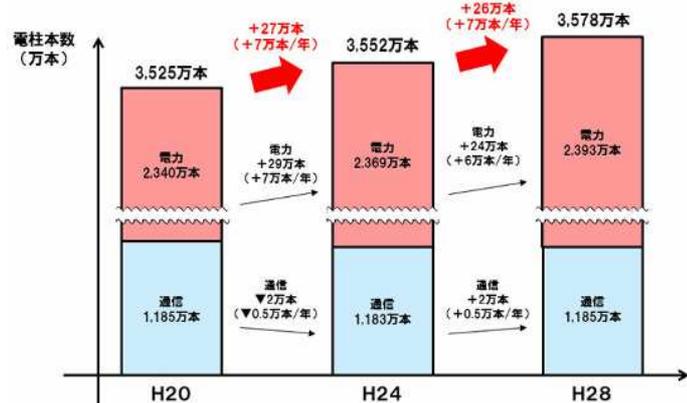


図2-2 電柱本数の推移 【出典：国土交通省ホームページ】

2.2 目黒区のこれまでの取組

本区におけるこれまでの取組は、昭和 61 年度から電線管理者による単独地中化方式により目黒川沿川道路や自由が丘南口商店街等が無電柱化を行い、平成 9 年度からは都市計画道路補助 18 号線整備において電線共同溝方式を採用し、無電柱化を行いました。

その後、無電柱化の基本的な考え方を定めて計画的に整備を進めていくため、平成 11 年 3 月に目黒区電線類地中化整備基本方針を策定しました。平成 17 年 10 月には、この基本方針を改定し、区道 26.7km を整備対象路線と位置づけ、この路線の中から、優先的に地中化を行う路線として都立大学駅前、洗足駅前、柿の木坂通り南、東邦大学病院前、東京共済病院周辺の 5 路線 1.89km を選定し、無電柱化を進めています。平成 25 年度は都立大学駅前が完成し、27 年度からは東邦大学病院前で事業に着手しました。

平成 30 年度末までに、都市計画道路の整備や市街地再開発事業で行う無電柱化も含めて、合計 4.64km の整備が完了しています。

表 2-1 無電柱化の整備状況

番号	路線名	年度	道路延長 (m)	進捗率
1	H19 年度以前の路線	S61 ~ H19	3,171	11.9%
2	補助 19 号線 (新茶屋坂通り)	H20	434	13.5%
3	上目黒一丁目地区再開発	H21	230	14.4%
4	大橋地区再開発	H24	140	14.9%
5	補助 30 号線	H25	380	16.3%
6	都立大学駅前	H25	284	17.4%
合計			4,639	17.4%



都立大学駅前

2.3 目黒区の無電柱化の現状

本区の無電柱化の目標は、平成21年10月に策定した目黒区基本計画の重点プロジェクトの中で、令和元年度末で整備対象路線26.7kmに対し、進捗率を24%と設定しています。

進捗率は平成30年度末で17.4%であり、平成20年度末の14.4%から3.0ポイント上昇しているものの、目標の達成には至っていません。

目標の達成には、区で行う電線共同溝整備の着実な推進と、地域住民や事業者がまちづくり事業等の中で行う無電柱化との連携が重要となります。

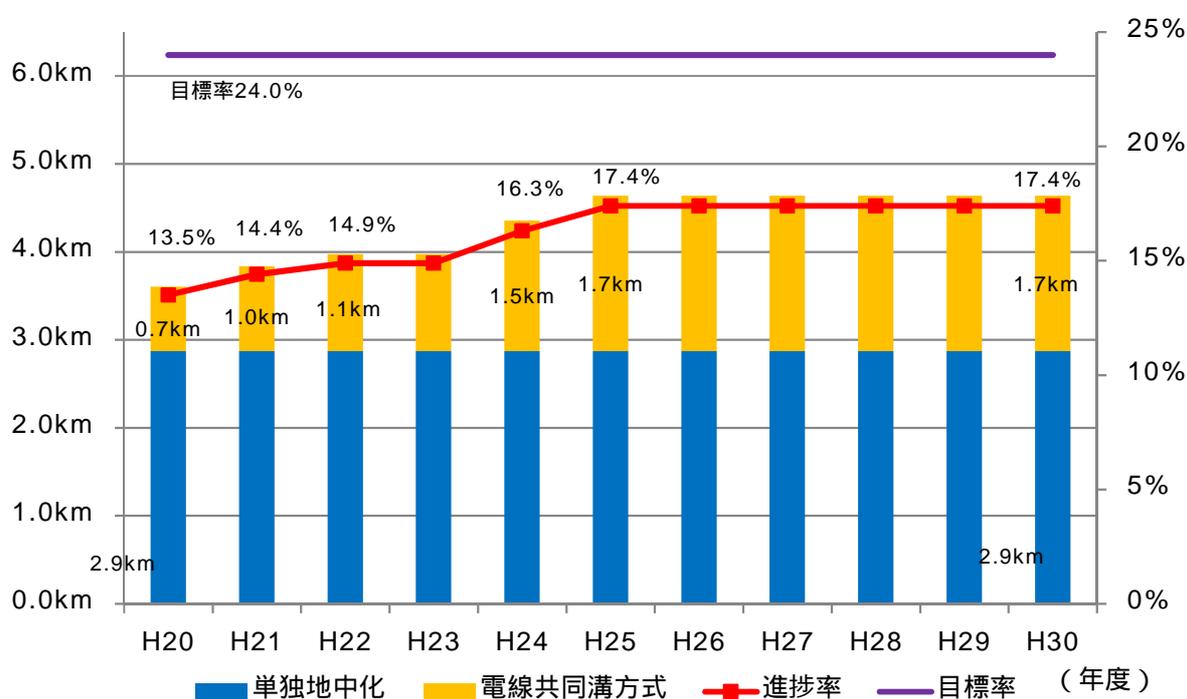


図 2-3 無電柱化の進捗率

無電柱化の進捗率 $4,639\text{m} / 26,700\text{m} = 17.4\%$ (平成30年度末時点)

■ 無電柱化整備状況

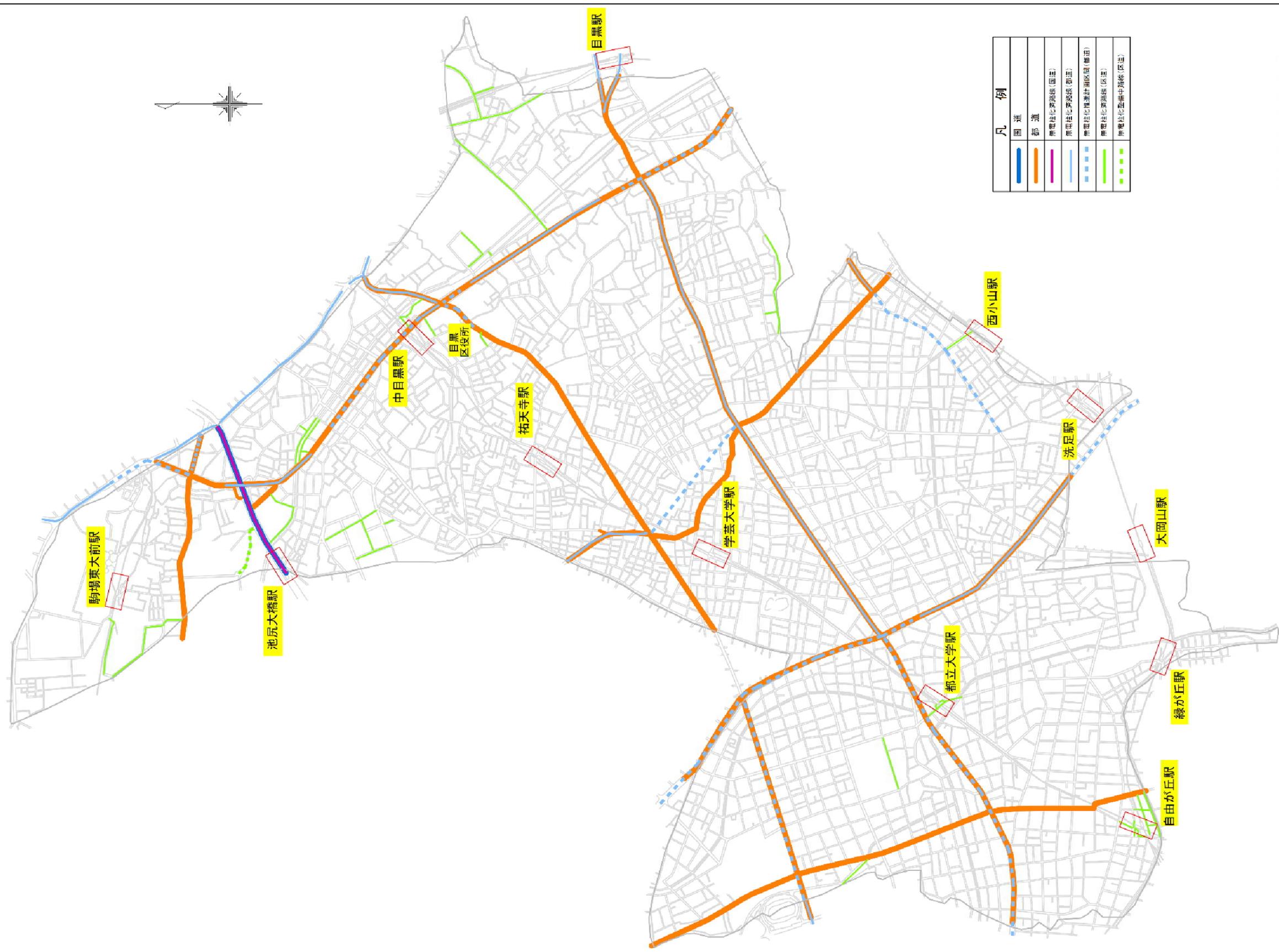


図 2-4 無電柱化整備状況